

港北区制80周年記念・港北芸術祭

「人形劇 ひよっこりひょうたん島／一寸法師」を開催します！

港北区では、地域文化活動や文化事業の創造を目指し、「港北芸術祭」を毎年開催しています。

今年度は、東京2020パラリンピックに向け、港北区にある障害者スポーツ文化センター横浜ラポールの運営者である社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団とともに、子どもから大人まで、また障害の有無に関わらずみんなが楽しめる「人形劇 ひよっこりひょうたん島／一寸法師」を開催します！

みんなが楽しめる人形劇とは・・・？

ひよっこりひょうたん島はステージ上で字幕表示を行います。

一寸法師は、おなじみの昔話に「語り」「手話」「お囃子」等を加えた盛りだくさんの内容で、目で楽しみ、体で感じることができるステージとなっています。



©井上ひさし・山元護久・ひとみ座・NEP21 キャラクターデザイン片岡昌

公演概要

- 【日時】 令和元年9月7日(土) 2回公演
1公演目:11時開演/10時30分開場、2公演目:14時開演/13時30分開場
- 【会場】 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール ラポールシアター
(JR横浜線・横浜市営地下鉄「新横浜駅」から徒歩約10分。裏面参照)
- 【出演・演目】 人形劇団ひとみ座による「ひよっこりひょうたん島」、デフ・パペットシアター・ひとみによる「一寸法師」
- 【入場料】 前売 一般2,000円、3歳以上中学生以下500円/当日 一般2,500円、3歳以上中学生以下500円
- 【チケット】 7月8日(月)販売開始
電子チケットぴあ、ローソンチケット、e+(イープラス)、東急トラベルサロン日吉駅、
天一書房大倉山店・綱島店、港北区役所3階売店で購入可
- 【主催】 港北芸術祭実行委員会/港北区役所
- 【共催】 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団、横浜アーツフェスティバル実行委員会
- 【協力】 公益財団法人現代人形劇センター、シアター・アクセシビリティ・ネットワーク

※横浜音祭り2019共催事業、beyond2020プログラム認証事業

ひょうたん島

「泣いたトラヒゲの巻」

字幕表示あり



【あらすじ】

遠足で訪れたサンデー先生と小学生たちをのせて、漂流をはじめた“ひょうたん島”。ある日のこと、海賊のトラヒゲがニワトリの恰好をしています。トラヒゲは、タマゴをあたためてヒヨコにかえそうとしていますが、さて、どうなるのでしょうか。

【人形劇団ひとみ座】

1948年の劇団創立以来、「豊かな人形劇の創造」をテーマに舞台、テレビ、映画などにおいて数々の作品を発表してきた日本を代表する人形劇団。数多くの賞を受賞し、高い評価を得ている。今回上演する「泣いたトラヒゲの巻」は、ひとみ座の舞台のために書かれた唯一の脚本。

一寸法師

【あらすじ】

一寸（いっすん）、それは長さ・約3センチメートルのこと。だから一寸法師とは小さな小さな男の子。一寸法師の冒険の旅を、デフ・パペットシアター・ひとみにアレンジし、お届けします。ドラと太鼓のリズムに合わせて小さな一寸法師の大冒険のはじまり、はじまりー。

【デフ・パペットシアター・ひとみ】

日本で唯一耳の聴こえない人と耳の聴こえる人が協力して公演活動を行っているプロの人形劇団。障害の有無に関わらず楽しめる人形劇を創ることを目指し、人形劇が持つ「視覚的」な魅力に着目し、新しい表現の可能性に挑戦している。



お楽しみ交流会

一寸法師の上演後は、劇中に登場する人形や、楽器の紹介、簡単な手話体験を楽しめます。

会場へのアクセス

- 新横浜駅からリフト付き送迎バス(無料)をご利用の場合
新横浜駅前(北口)から、
横浜市総合リハビリテーションセンター／横浜ラポール専用(無料)
約5分
- 横浜市営バスをご利用の場合
横浜市営バス(300系統)で、「浜島橋」下車 徒歩2分
※市営バスは次の駅から接続しています。
・横浜市営地下鉄「仲町台駅」
・JR 横浜線・横浜市営地下鉄「新横浜駅」



お問合せ先

港北区地域振興課長 小野 佐幸美 Tel 045-540-2233